

## 秦野市情報化推進委員会令和2年度第1回会議（会議概要）

日 時	令和2年10月22日（木）午後1時30分～午後2時50分	
会 場	講堂（本庁舎3階）	
出 席 者	委員	浅川委員、貝瀬委員、熊谷委員、佐藤委員、高橋委員、長瀬委員、山口委員、吉田委員（8名中8名出席）
	事務局	石原総務部長、船村情報システム課長、坂本課長代理（ICT推進担当）、前田課長代理（情報システム担当）、大野主事、関根主事補
議事内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状の交付</li> <li>3 総務部長あいさつ</li> <li>4 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 正副会長の選任</li> <li>(2) 秦野市情報化推進委員会について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span></li> <li>(3) 「秦野市第4期情報化推進計画」の総括について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span></li> <li>(4) 次期「秦野市情報化推進計画」の策定について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span></li> </ol> </li> <li>5 閉会</li> </ol>	

次 第	会 議 概 要
開 会	（情報システム課長） ・ 会議出席へのお礼
委嘱状の交付	・ 委嘱状については机上配布
あいさつ	（総務部長） ・ 委員就任の御礼及びあいさつ
資料確認 委員紹介	（情報システム課長） ・ 配布資料の確認 ・ 委員紹介
議題1	<b>正副会長の選任</b> ・ 互選により浅川委員を会長に決定 ・ 浅川会長のあいさつ 以下、浅川会長が議長となり議事を進行 ・ 互選により山口委員を副会長に選任 ・ 山口副会長のあいさつ

次 第	会 議 概 要
<p>議題 2</p>	<p>秦野市情報化推委員会について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秦野市情報化推進委員会の概要について資料 1 に基づき説明</li> </ul>
<p>議題 3</p>	<p>「秦野市第 4 期情報化推進計画」の総括について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「秦野市第 4 期情報化推進計画」の概要及び総括について、資料 2-1、2-2 に基づき説明</li> </ul> <p>(議長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機器等ハード面の整備が進んでいるという印象だが、教職員の指導への活用等ソフト面についてはどうか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現計画においては「学校における ICT 活用の推進」という事業推進計画があり、この中で、教職員に対する研修会の実施による ICT 活用推進を図っている。</li> </ul>
<p>議題 4</p>	<p>次期「秦野市情報化推進計画」の策定について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期「秦野市情報化推進計画」の策定及び「(仮称)はだの ICT 活用推進計画」の骨子(案)について、資料 3-1、3-2、3-3 に基づき説明</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響でデジタル化の必要性が急速に高まっている中、国においては、デジタル庁の設置、「自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画」の策定、「デジタル・ガバメント実行計画」の改定等の様々な動きがあり、動きが見えづらい状況である。  場合によっては、計画策定後に評価指標等の見直しの必要が生じる可能性があると思うが、国の取組みとの整合をどのように図るのか。</li> <li>・ 全体的な印象として、データ利活用の視点が少ないように感じる。様々な分野について全般的に推進していくことは困難であると思うが、PHR など、分野を絞って取り組むのも良いのではないか。</li> </ul>

次 第	会 議 概 要
	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・ 行政手続のオンライン化の推進にあたっては、自治体は民間と異なり、一度に全てをオンラインへ転換することができない。このことにより、申請する側にとっては利便性の向上につながるが、職員側にとっては手続手段が増える分、負担増につながるという懸念がある。</p> <p>こういった点からも、ICT活用により職員の働き方を支えるという視点があっても良いのではないか。</p> <p>(事務局)</p> </li> <li> <p>・ 次期計画では、毎年度、計画内容の見直しを行うとともに、計画の中間年度である令和5年度では、事業推進計画全体を見直すこととしている。現在進行している国の施策等については、その毎年度の計画見直しの中で対応していきたいと考えている。</p> </li> <li> <p>・ データの利活用の推進に関しては、基本方針「(仮称)官民データの積極的な利活用の推進」の中で取組みを進めていく考えである。</p> </li> <li> <p>・ ICTを活用した働き方については、本市における行財政改革を推進するための基本方針である「(仮称)行政サービス改革基本方針」と連携した取組みを進めていくとともに、基本方針「(仮称)ICTを活用した効率的で持続可能な行政運営の推進」の中に関連する事業等を位置付ける必要があると考えている。</p> <p>(委員)</p> </li> <li> <p>・ 情報化の推進にあたっては、市民サービスの利便性と市民が活躍するための情報化という視点が重要であると考えます。</p> <p>例えば、自治会連合会のホームページの開設や、秦野市が小田急電鉄と連携して実証実験しているアプリケーションの活用などがあると思うが、こういった取組みを含め、行政側から市民への丁寧なフォローを検討してほしい。</p> </li> <li> <p>・ 新しい基本理念については、ICTやデータの活用と新たな都市像案を安易に合わせたように感じる。</p> <p>新たな都市像案で掲げる「誰もが輝く」ためにどのような情報化が考えられるのか、パソコン等のICTに不慣れた市民への丁寧なフォローも含めて検討してほしい。</p> </li> </ul>

次 第	会 議 概 要
	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、検討を進めていく。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者も一定程度 I C T の活用が進んでおり、それに合わせて使いやすさや見やすさの向上が行われていると思うが、外国籍住民に対する配慮も必要ではないか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルデバインド対策の中のひとつとして、外国籍市民への対応を検討していきたい。</li> </ul>
閉 会	<p>(情報システム課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議参加のお礼及び閉会のあいさつ</li> </ul> <p>午後 2 時 5 0 分終了</p>